

# 2026年度「中長期的な金融仲介の在り方検討WG」の取組み

実務レイヤーで議論を行う3つの「検討会」を設置し、具体的な処方箋の提示（市場・商習慣・制度）を目指す

※ 議事内容、資料、報告書などは原則非公表

## 1 新たな産業金融を実現する 長期デット・ファイナンスの在り方検討会

- 第2回会合を5月29日に開催
- 全7回を予定（～10月迄）
- 国内成長資金需要の量的拡大と質的变化に対応すべく、銀行B/Sに過度に依存しない「市場型」金融仲介システムを取り入れた「新たな産業金融」の形を模索
- 有識者、銀行、証券、信託、保険、資産運用、政府系金融機関などが参加
- オブザーバーとして関係当局や経済団体、法律事務所なども参加

## 2 資産トークン化の意義・ 将来像に関する検討会

- 初回会合を5月20日に開催
- 全6回を予定（～2月迄）
- 金融仲介機能強化の観点から、日本において資産のトークン化が有効に機能し得る領域・アセットクラスを模索し、その実現に必要な法制度や取引インフラ等の条件を議論・検証
- 有識者、銀行、証券、信託、保険、資産運用、テック企業などが参加
- オブザーバーとして関係当局なども参加

## 3 銀行の資本性資金供給と 非金融事業の取組に関する検討会

- 初回会合は9月以降に実施（詳細未定）
- 最大4～5回を予定（～2月迄）
- 銀行による資本性資金供給や非金融事業参入の目的や意義に関し、将来の一般持株会社化も念頭に置きつつ、今後の社会・産業界のニーズや期待も踏まえて議論・検討予定
- 有識者及び銀行が主な参加者となる想定なるも、他のプレイヤーの参加も検討
- オブザーバーとして関係当局や政府系金融機関なども参加予定

WG宛て第1回報告会（11月）

WG宛て第2回報告会（3月）

中長期的な金融仲介の在り方検討WG（委員構成など2025年度の体制は維持）

（注）スケジュールは現時点の想定（今後調整）